

第3回「教育を語り合う会」記録

日時：令和6年2月17日（土）9時35分～11時30分

場所：真鶴町民センター3階 講堂

参加者：61名（9グループ編成）

進行：神谷（県西教育事務所：社会教育主事）

BGM：「Mana Manazuru」

（作詞；勝山千帆 作曲；MIDORI ボーカル；MIDORI）

開会

- ・進行役の自己紹介。
- ・「教育を語り合う会」は社会教育のフィールドで学校教育を語る場。休憩、水分補給は自由。

「教育を語り合う会」の趣旨等説明

○趣旨

- ・後世に誇れるような、素晴らしい学校を町民みんなで創りたい！
- ・一貫教育校の意義について共通理解を図りたい！

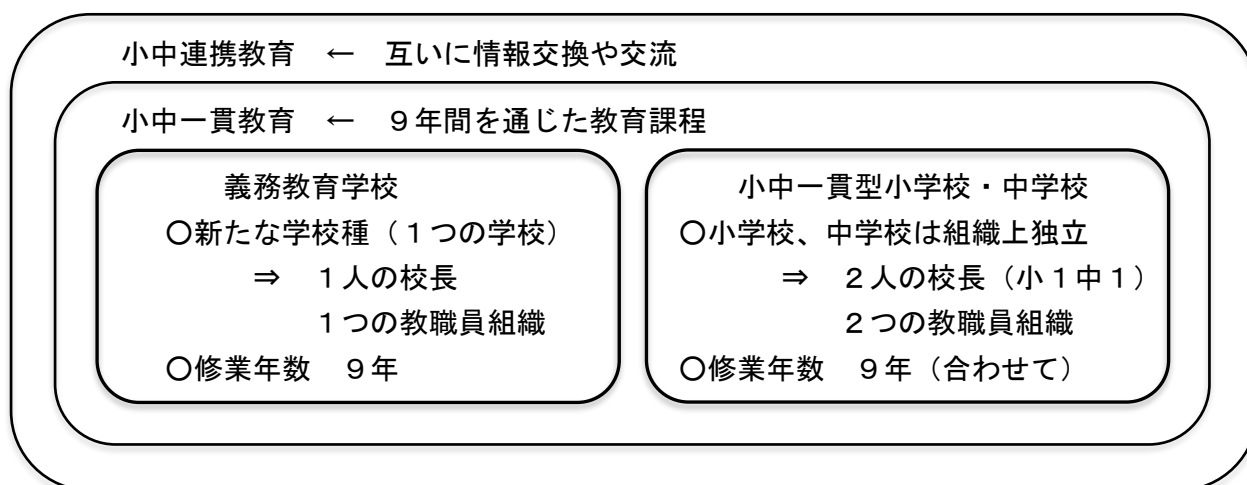
○気をつけたいこと

- ・この場は何かを決定する場ではなく、みんなで考える場であること。
- ・相手に何かを求めたり、責めたりする場ではなく、自分なら何ができるかを考える場であること。

アイスブレーキング（意思表示ゲーム）

- ・参加者は質問に対して、グー（そう思う）チョキ（どちらとも）パー（思わない）で答える。
- ・進行役の「せーの、ドン」の掛け声で一斉に手を挙げる。
- ・「今日の語り合う会に向けて、やる気満々だ。」
- ・「第1回目、2回目の語り合う会にも参加していた。」
- ・「自分は、20歳以下である。」

小中一貫教育制度についての説明



- ・小中連携教育は、情報交換や交流をしながら連携して取り組んでいこうという制度。
- ・その中に、9年間を通じた教育課程を編成する小中一貫教育がある。

- ・義務教育学校は、小中学校を合わせて一つの学校とする学校。校長も一人、教職員組織も一つで、修業年数は9年。
- ・小中一貫型小学校・中学校は、小学校と中学校は組織上独立していて、校長は二人、教職員組織も二つ、修業年数は合わせて9年。
- ・義務教育学校でも小中一貫型小学校・中学校でも、9年間の区切りを「6・3」ではなく、「4-3-2」や「5-4」のような柔軟な学年段階の区切りを設定することは可能。
- ・文部科学省の資料でも、「創意工夫を行いながら、当該地域や学校、児童生徒に適した小中一貫教育を構想していくことが求められます」としている。
- ・施設にも施設一体型、施設隣接型、施設分離型がある。

第3回学校建設準備委員会の報告

○新たな学校は「小中一貫教育校」に！

- (主な理由) * 乳幼児期と児童生徒期とでは生活環境に大きな違いがあり、一緒に生活するための敷地の確保が真鶴町では難しい。
- * 民営の保育所と教育を柱とする町立の施設を併設することは時期尚早である。

一貫教育校実現に向けての保護者アンケートPart 1の結果報告

- ・開校計画を知っている保護者の割合が低く、今後様々な場面で周知が必要。
- ・一貫教育校の教育についても保護者の約8割が「ほとんど知らない・知らない」という状況。
- ・一貫教育校への期待の第一位は「丁寧な学習指導・児童生徒指導」、不安の第一位は「人間関係の固定化」であった。
- ・一貫教育校の良さを生かしつつ、不安の解消となるような仕組みづくりが重要になってくる。

アイスブレイキング(〇〇といえば?)

- ・テーマを聞いて、思いついたものをどんどんワークシートに書く。(個人)
- ・グループで共有する。進行役は一つ一つを受け止め、復唱しながらワークシートに書く。
- ・テーマ「真鶴といえば」「学校にあるもの・場所といえば」

ワークショップ「学校に、『あったらいいな』こんなもの・こんな場所」

○資料「小学校・中学校設置基準(抜粋)」「学校施設整備指針の改訂について」の提示

○ワールドカフェの説明

- ①テーマについて付せんに書き、グループで共有する(20分)
- ②他のテーブルに移動し、アイデアのやり取りをする(20分)
- ③最初のテーブルに戻り、様々な意見やアイデアを出し合う(20分)
- ④全体で共有(10分)

- ・付箋紙の書き方例「〇〇な□□」「〇〇のための□□」「〇〇できる□□」

○付箋紙に書かれた内容は次の通り。(カテゴリー化等は、後日事務局で行った。)

◆大切にしたい考え

- ・子どもの幸せ=先生の幸せ=地域の幸せ
- ・地域全体で教育をつくる!! ⇒ 教育は未来の地域をつくる
- ・子の幸せ → 地域の幸せ
- ・町中が『学校』だったらいいなあ
- ・家庭にないものを! 創造力を養いたい

- ・通うだけで全人格的成長が達成される魔法のような学校

◆ゆっくりできる空間

- ・ひとりでも安心していられる所
- ・先生なしでも入れる教室（気持ちがモヤモヤした時に、友達がいる教室にいるのがつらいという時、自由に行ける教室がほしい。）
- ・子ども達だけの場所（大人禁止） ・同世代だけの環境 ・子どもの休けい所
- ・自分の時間を過ごせる場所（ロビー）何箇所か ・教室以外の場
- ・自分のすごしやすい居場所 ・子どもたちだけの部屋
- ・やりたいことができる学校 ・治外法権の場所
- ・いすだけでなくたたみ（和室）、ソファ ・リラックスルーム
- ・ゆったり過ごせる場所 ・落ち着けるリラックスルーム
- ・子どもがゆったりくつろげるスペース ・リラックスできるソファ
- ・休けいスペース ・休けい部屋（ヨギボー、ひるね） ・語らいスペース
- ・昼寝（スペース） ・昼寝できる場所 ・ゆったり休める部屋
- ・ゆったり、いやし ・ほっといきスペース ・こたつ（おやつ）
- ・ふとんべや（ふかふかなものもある、クッションも）
- ・休憩室（大人用、子供用） ・先生と子どもと一緒にお茶する場所
- ・教師のいやしの場も ・職員の休憩ルーム
- ・教職員や来客の人が使えるカフェのような休けい室

◆学びの空間（普通教室）

- ・日当たり、風通しのよい教室 ・使いやすい教室
- ・先生が書きやすい黒板（チョークもおれにくいの） ・ゆとりある教室
- ・快適な教室 ・快適な教室 ・部屋・教室は広く！
- ・教室広く ⇒ 学級文庫 ・色々仕切れる広い教室 ・動かせる壁

◆学びの空間（普通教室以外）

- ・20～30人用、40～50人用集会所
- ・学年単位で集まれる（児童生徒＋保護者＋職員）集会ルーム
- ・ミーティングができるスペース ・学年を越えて会話できるスペース・部屋
- ・他の学年と交流するフリースペース ・異学年交流部屋
- ・他学年とふれあえるイベント場所など ・イベントホール ・イベント広場
- ・じどうがとくいなことを発ひょうできるように場所 ・他学年とふれあえる場所
- ・女子だけではなくこういしつは男子も！（エアコンも！）
- ・更衣室（空き教室をつくる） ・男子のこうい室 ・ベッドが多い保けんしつ
- ・みんなでまちをつくる工作室（ベンチとかをつくれる）
- ・いろいろな工具がそろった工作室 ・自由に工作ができる部屋
- ・色々な道具をそろえた自由に使える工作室（FabLab）
- ・ちょっとしたスタジオのような放送室（各クラスに映像を送ることができる）（音楽を地域に）
- ・美術館や博物館のような文化に触れる空間・設備 ・映画鑑賞室
- ・えいがかんがほしい!! ・映画館 ・自由に音楽ができる場所
- ・段差のある音楽室 ・子どもの創造性を生かす特別教室
- ・本物にふれあえる場所（動物、アート、音楽、スポーツ）
- ・自分の思いを伝えることができる“希望室”設置

- ・モチーフやイーゼルをそのままの状態でおいておける美術室
- ・談話室（コミュニケーションを取る場所） ・子どもの相談相手のいる場所
- ・安心できる部屋（相談ROOM） ・心の相談室
- ・心の相談室、明るく入りやすい部屋
- ・子どもたちのなやみ、ぎもんによりそえる姿勢
- ・職業体験エリア（キッズニア的な）
- ・自由に使える自習室（家庭で勉強できない子供が学べる場所）
- ・自習室（家で勉強できない子たちが学習できる場所）
- ・勉強を楽しく覚えられる部屋 ・集中勉強部屋 ・集中勉強部屋
- ・にぎやかな勉強部屋 ・静かな勉強部屋
- ・トランポリンベヤ（ウォーターサーバーつき！） ・洋服部屋
- ・ヘアセットができる部屋（ヘアアイロン、ドライヤー） ・メイクベヤがほしい
- ・机やイスが色々な形の不揃いな教室 ・宿泊部屋 ・宿泊部屋 ・宿泊エリア
- ・宿泊できる、キャンプ ・面会（接）室 ・個室 ・個別スペース
- ・yogiboのへや ・ヨギボー、和室 ・ゲームルーム ・ゲームベヤ
- ・ゲーム教室 ・ポケモンバトルベヤ（デッキもある）
- ・アニマルベヤ（ねこ、いぬ、ハムスター、モルモット） ・自由に遊べるへや
- ・職員用の部屋 ・研究室

◆校舎の内装・外観

- ・屋根のある校舎 ・明るい校舎内 ・自然素材のインテリア
- ・自然素材のインテリア ・全教室に冷暖ぼう
- ・教室と同じくらい広いろう下（カーペット） ・木の長いろうか
- ・なんでも映せる壁・天井 ・廊下にプロジェクションマッピング!!
- ・町民も使えるプラネタリウム ・建物内にたくさん植物 ・自由に絵が描ける壁
- ・（屋上のような）渡り廊下 ・屋上 ・海に見える屋上
- ・子供がきがるにいける、あぶなくないおく上（休み時間）
- ・眺めの良い屋上（プラネタリウムの復活！） ・海を眺められる場所
- ・海がみえる教室（海のまちならではの） ・展望台、テラス
- ・気軽に外に出れるベランダ ・ベランダ ・校舎のつくり たのしい
- ・じどうが好きにか入れるあぶなくないおく上 ・ヘビのような校舎

◆校舎の周辺環境

- ・広い校庭 ・のびのび運動できる校庭 ・広い駐車場 ・芝生
- ・運動場にしばエリア ・みんなで育てる畑
- ・みんなで育てる、食育にも使える 畑 ・子どもが自分達で管理する畑
- ・収穫が期待できる畑・菜園 ・農園・ハーブ園
- ・植物や生き物（自然）にふれられる所 ・生き物（命を感じる）
- ・ビオトープ たくさんある ・池を作ってほしい!! ・動物と触れ合える場所
- ・動物とのふれあい ・動物達 ・動物（ねこ、いぬ）たち
- ・どうぶつをかいたい、ねこいぬ ・いろいろな動物を育てる場所 ・植物園
- ・木や植物たくさん ・木 ・校庭に円形の花のある場所 ・皆の農園・花だん
- ・農園 ・農園 ・自給自足 ・自給自足（畑） ・せせらぎ ・自然
- ・自然がいっぱい校しゃ？ ・自然が多くある校舎 ・小松石のアート
- ・アウトドア、たき火やBBQ ・たき火ができる

◆学校用家具

- ・とびらなどついている広いロッカー
- ・とびらがついたロッカー
- ・ロッカー
- ・教室のロッカーを広くしてほしい
- ・大きなロッカー
- ・とびらがついた大きいランドセルロッカー
- ・広い収納ロッカー
- ・うしろのロッカーとかの荷物を別教室に入れて教室を広くしたい
- ・（今より）大きな机
- ・身長が高い人のためのつくえといす（じしんの時、つくえの下にかくれるのが、つくえが小さいと入りにくい…）
- ・つくえのロッカーみたいなところをひろくしてほしい
- ・調理じっしゅうでつかう米をたくもの
- ・大きなけい示板（質問や連絡事項等）
- ・コンセント付きのつくえ
- ・おしゃべりできるベンチ

◆学校図書館

- ・学校が図書館
- ・相談にのってくれる司書がいる図書室
- ・いつでもすぐ本が読めるようなミニ図書室がいろいろな階にほしい
- ・図書室以外で本に触れる場所
- ・図書館
- ・図書室
- ・広い図書室
- ・大きな図書室
- ・ごろごろできる図書室
- ・のんびりできる図書室
- ・ゆったりした図書室
- ・本をたくさん
- ・たくさん（色んな種類）の本がある図書室
- ・学びたいことを自分で調べられるところ
- ・自分で読んで感動した本などの情報提供をする“みんなのBox”設置
- ・静かに本をよめる図書室
- ・ワクワクする図書館
- ・図書室の充実（自習、自由なスペースに、いきやすい場所に）
- ・町の人も来る図書室（地元ならではの本）

◆体育施設

- ・グラウンド、体育館
- ・冷暖ぼう付体育館
- ・冷暖房体育館
- ・冷だんぼうのついている体育館
- ・冷だんぼうつき体育館
- ・冷暖房のついた体育館（災害にも使えるよ）
- ・体育館に冷暖房を
- ・先生がいなくても遊べる体育館などがほしい（地域の方が見守りを）
- ・広い体育館（冷暖房）Wifi入る
- ・広い運動場
- ・テニスコート
- ・テニスコート
- ・大きいサッカーゴール
- ・サッカーじょう（しつない）
- ・トレーニングジム
- ・筋トレができるスポーツジム
- ・身体をきたえるジム
- ・シャワールーム、ジム
- ・室内運動スペース
- ・人工芝の室内運動場
- ・自由に遊べる体育館（ボール遊びや器械体操など）
- ・体育以外で体をいっぱい動かせる何かがあったらいいなァー ⇒ 小学生とバドミントンとかしたいなァー
- ・跳び箱の段を10段までの跳び箱
- ・マリンスポーツ
- ・健康面でも明るい学校
- ・体育がチャック有りの服でもできるようにしてほしい

◆海・プール

- ・真鶴の海で安全に泳げるように！ プール
- ・プール。プールそうじなど一つの思い出!!
- ・プール
- ・プールとジャグジー
- ・プール（温水シャワーがでる）
- ・深くて広いプール
- ・プール（海で安全に泳げるようになるために！ 夏休みにプールの開放日、あそびに行きました！）
- ・プール（室内）
- ・室内プール
- ・屋内プール
- ・室内プール
- ・室内プール（温水、1年じゅうやってる!!）（いつでも入れる）

- ・プール（室内、温水、1年じゅうあそべる、ウォータースライダーつき、50m）（しみんもいつでもつかえる）・一般も使えるプール ⇒ 交流の場！
- ・地域管理で ・前にあびるシャワーをあたたく ・ウォータースライダー!!

◆食の空間

- ・全校児童で食べられる（給食）広い食堂コーナー ・給食or食堂
- ・おいしい給食・食堂 ・作っている様子が見える調理場
- ・1Fに避難所になっても使える給食室、調理室
- ・調理室・給食室（避難所対応できるように1Fにあるとよいな一）
- ・自校給食 ・自校方式の給食（今の小学校とっしょ）
- ・給食がおいしい学校（無農薬などこだわりがほしいな一）
- ・自分で作ったものと真鶴の食材で調理したい！ 畑（地産地消を学ぶ）
- ・地元の食材を ・自由にご飯が選べる ・選択できる給食
- ・選べる給食（肉、魚etc.） ・地域交流、学年をこえて交流できるランチルーム
- ・ランチルーム（学年をこえての交流、バースデーの会、地域交流）
- ・ランチルーム ・給食試食したい！

◆地域との交流空間

- ・アクセスのよい所につくり、地域一体となって使えるように。卒業しても使える。Wifi、動物ふれあい。地域の人と。
- ・小中学校だけど大学のような地域の人もつかう
- ・地域の人が気軽に来れる学校 ⇒ 大人も学び直したいなァー
- ・高校生や大人も勉強できるスペース ・大人も一緒に学べる教室
- ・学べる場所（子ども以外も） ・交流といやし ・地域住民とつながれる場所
- ・いこいの場 ・地域との関わり ・地域の人と交流する場
- ・地域の人がふらっと集まれる場所（教室？） ・地域の人が集う部屋
- ・お年寄り、地域の人が利用できるフリーな教室
- ・大人と子どもと一緒に過ごす空間（例えば、図書館）
- ・町民のためのいこいの場所 ・町の方との共有スペース
- ・町民も使えるフリースペース ・地域とつながる（異文化、他校、農園）
- ・地域の人。ジムがあって、子どもたちの様子みれて、ちょっとふれあえてにっこりして、買い物して家に戻る、みたいなルーティーンができるとうれしいな。未病対策。
- ・地域の人も入れるカフェ、みんなのカフェ（町のパン屋購買）
- ・町民も入れる場所（本など）（カフェかな？） ・おしゃれなカフェテリア
- ・外国の映画に出てくるようなカフェテリア（ランチルーム）
- ・大人も使えるカフェ（食堂） ・カフェ ・カフェ（自販機） ・C a f e
- ・カフェテリア ・カフェ、フリードリンク、シンデレラルーム ・カフェエリア
- ・カフェ、スタバ ・カフェ ・カフェがくっついているネコカフェ
- ・ネコカフェ、ドッグラン ・フリードリンクコーナー（だれでも使える）
- ・お湯が出る水道、フリードリンク ・ウォーターサーバー（きれいな水）
- ・コミュニティの巨大化 ・ボランティアカード制度 ・コンビニ

◆ネット環境と多様な文化との交流空間

- ・けいたいをつかえるようにしたい
- ・パソコンやインターネットなどに自由にふれて利用できる場所（もの）
- ・オンライン。人間関係の広がりも！ ・他学校、世界とつながるweb教室

- ・他校（外国）との交流 ・世界の学校とつながるへや
- ・ネット環境がバッチリな各教室、図書室 ・W i f i
- ・町ならどこでもW i f i ・放送機器（体育館、グラウンドまで！）
- ・離島モデル？ I C Tを活用した学びのへや
- ・リモートでコミュニケーションできるデバイス ・I C Tスタッフルーム
- ・日本語以外のコミュニケーション
- ・異国の人や異文化に直接ふれることができるところ、もの
- ・海外の方と交流できる機会。海外と日本の文化交流。
- ・和室（たたみ、床の間、ふすま、障子等） ・和室（日本文化に親しむ）

◆トイレ

- ・トイレ ・キレイなトイレ ・キレイなトイレ ・きれいなトイレ
- ・きれいなトイレ（洋式） ・バリアフリー（トイレ、多様性）
- ・バリアフリーのトイレ ・ジェンダーフリートイレ
- ・トイレ（ジェンダーフリー） ・みんなのトイレ（流しやすい）
- ・そうじ用具の設備をしっかりとしたい

◆職員室

- ・トレンディドラマのオフィスのような職員室 ・収納上手な職員室
- ・オフィスのような職員室 ・先生のふたんを減らす
- ・先生方の負担をかるくする ・ゆったり子どもたちと向い合える先生の仕事

◆学校の授業

- ・グローバルスタンダード ・じっくり学習「学びたい」を大事に
- ・じっくり、ゆっくり学べる算数教室 ・少人数
- ・授業スタイル、フリースタイル（フィンランド） ・自主性
- ・宿題なく休み多く、自由性を ⇒ 個性、考えて実行できる
- ・個性 ・地域体験、交流学习（現在のことをさらに広げて）
- ・体験教室を増やしたい ・みかん、漁業、石材業体験 ・つり、漁業体験、漁船
- ・学校に集まるのではなく外へ（体験授業）
- ・近隣学校へのいつでも見学（留学）ツアー
- ・子どもが作るクラウドファンディング
- ・プログラミングなどの新しい時代にあわせた授業がしたい
- ・他校の子どもたちの取り組みや学校生活を共有 ・敷地外の町の中の学校
- ・自分で選べる授業 ・自分のプロジェクトを追求できる授業
- ・プールの授業を多くする ・じゅぎょうでプールあそびふやしてほしい
- ・そとでじゅぎょう ・ゲームでべんきょう ・ちがうところでじゅぎょう
- ・地域の人が先生 ・卒業生授業 ・上級生授業

◆学校の日課

- ・やすみじかんをふやしてほしい ・休み時間の確保
- ・休み時間を長くしたい（委員会や実行委員に回すため） ・休み時間を長く
- ・長昼休みを毎日する ・中昼休みを1時かんにしてほしい ・4時間で帰る
- ・さんじかんでかえる ・学校はおそくはじまって、おそくおわりたい
- ・自分で時間をせんたく ・1日フリーの日 ・夏休みをふやす！（冬休みも！）
- ・土日の学校開放

◆防災・防犯・人権

- ・防災のため机や壁に荷物をかけない
- ・防災グッズ
- ・防災設備
- ・貯水タンク
- ・災害時にあぶないから、でんとうを天井にうめこんでほしい
- ・小は防災ずきん、中はヘルメット
- ・校門がある
- ・校門（身元不明者が入らないセキュリティ）
- ・身元不明者が入れないシステム
- ・見とおしの良い出入り口
- ・防犯カメラ
- ・地域の出入りによりセキュリティもアップする
- ・セキュリティも考えたい
- ・ある程度のセキュリティ
- ・インクルーシブ教育に深い思いがある学校
- ・インクルーシブな環境（トイレ、更衣室など）
- ・バリアフリー
- ・バリアフリー
- ・バリアフリーな空間
- ・バリアフリー（エレベーター、スロープ）
- ・エレベーター（バリアフリー）
- ・エレベーター（バリアフリー）
- ・エレベーター
- ・坂、スロープ、エレベーター
- ・骨をおってもものぼりやすいようにさかがついたかいだん
- ・みんなが使える文房具
- ・共用できる文房具

◆遊び場等

- ・遊具がたくさん
- ・たくさんの遊具
- ・小松石を使った岩登りみたいな…。
- ・隠れられる場所
- ・（かくれられる）秘密基地
- ・秘密基地のような遊び場
- ・秘密基地のような遊びの空間（ex. 森パン…校庭内、現プールの裏、木のまわりに岩がある）
- ・かくれんぼや探検ができるワクワクする学校
- ・鬼ごっこ専用部屋
- ・芝すべりできるスポット
- ・アスレチック
- ・アスレチック
- ・アスレチック
- ・アスレチックベヤ（ゆうぐも）
- ・ボルダリング
- ・おく上からすべり下りるすべりだい
- ・うみまでつながるすべり台 → マリンスポーツ
- ・森がほしい!!（学校の中に）
- ・ツリーハウス（全校の手作り）
- ・ツリーハウス（森のような場所）
- ・eスポーツ専用
- ・おかしをたべたい スナックタイム
- ・おもちゃじゆうにもってきていい
- ・ニンテンドースイッチ

◆学校生活の課題

- ・音楽室がほこりいっぱい音楽室で授業ができない子がいるから、どうにかしてほしい。
- ・ほこリアレルギーの人が音楽室等に入れないので、ほこりをなくす
- ・そうじがいきわたっていないので、ほうきなどを大きいものに変えて、そうじの効率化をはかりたい。

◆その他

- ・卒業旅行
- ・卒業旅行
- ・宿題なし
- ・しゅくだいなし
- ・宿題なし!!
- ・しゅくだいなし
- ・しゅくだいなし
- ・宿題なし!!
- ・宿題があるんだったらあそぶことがいい!! ⇒ 得意を見つける
- ・学校からロープウェイでかえる!!（行きかえり）
- ・乗り物（自転車など）
- ・アイスケース
- ・冷蔵庫
- ・バス
- ・マップ

「小中一貫教育に適した学校施設の在り方について」から事例紹介

○4つの視点

- ・異学年交流スペースの充実

- ・小中一貫教育の実施に適した安全性の確保
- ・地域とともにある学校施設の整備
- ・学校運営の一貫性確保への対応

○自らの視察体験

- ・1年生から9年生までの縦割り班で清掃活動に取り組んでいた。日常的に関わり合う場面を増やすことがねらい。
- ・9年生の卒業にあたって、涙を流す1年生の姿が見られるということだった。
- ・清掃活動時の集合場所は、掃除用具入れの前。そのため、校内の掃除用具入れの数を増やすだけでなく、教室内ではなく廊下や踊り場に設置するなどの工夫をしていた。

まとめ

- ・新しい学校を創る、新しい校舎を建てることを考えることは、まさに、未来の子どもの姿、地域の姿を考えることだと改めて感じた。
- ・根底に流れる思いは常に、「真鶴町の子どもたちのために、後世に誇れるような、そして全国に誇れるような素晴らしい一貫教育校を、真鶴町民みんなの力で創りたい」ということ。
- ・素晴らしい一貫教育校は、町民の皆さんの力を合わせていくことで、みんなの力で創り上げていくものなのだった。みんなで作り上げる一貫教育校、そこで育まれる子ども、地域の絆は、まさにかげがえのない町の宝ではないだろうか。

●振り返りアンケート（感想は次の通り）

大変良かった 39名 よかった 10名 ふつう 1名 よくなかった 1名

- ・地域の方の思いや考えをきくことができたのが、とてもよかったです。地域とともにある学校ができるといいなと思いました。
- ・子どもから大人まで、はば広い世代の方とお話できてよかったです。みなさんの意見が新鮮で、たのしませてもらいました。
- ・子どもたちの考えが聞けてよかった。これから大人の責任として、子どもたちの考えの背景にある願いをみんなで想像しながら、新しい学校創りに生かしていきましょう。
- ・他班の様子や成果を見る時間があって良かったです。児童・生徒の参加が、とても有意義だったと思います。
- ・いろいろな考えを知ることができてよかったです。小学生の意見はとても面白く、素晴らしかったです。真鶴がすきなので、素敵な学校ができることを願っています。
- ・今日は出席させていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。真鶴の心をひとつにして、子どもたちに最適な学校作り、地域住民も教員も成長しつづけることのできる学校であってほしいと改めて思いました。未来思考で、もっともっとワクワクしていきたいです！
- ・子供達がいたことが、すごく良かった。大人では思いつかない自由な発想が、とても新鮮だった。子供の視点はすごく重要で、大人が「子供はこれがあつたらいいだろう」と考えることは、得てして的確はずれなことも多いなと思った。今日のベストアンサー「海までつながるすべり台」。
- ・地域のみなさんの様々な思いを聞くことができて良かった。特に子どもの思いを聞いたことは、今後の学校づくりにとってとても有意義だったように思います。参加させていただき、ありがとうございました。
- ・今、日本の中の学校での取り組みは、いろいろなところであるけど、今回や次回も参加して、最高の学校にしていきたい。

- ・小学生たちが、とても前向きな意見を出してくれた。大人も色々な視点で考えてくれたので、今後は楽しみでしかないです。
- ・真鶴小・まなづる小卒業生と、今通っている在校生の声や、地域の大人の声を聞くことができ、すごく有意義な会でした。班の模造紙いっぱい未来の町の学校にむけての声が集まって、未来が明るくあってほしいと思いました!! 子育て中の親ももっと来てほしいです!
- ・土曜教室で来たけれど、これからの学校がどうなっていくのかワクワクした。一貫教育校だからこそできることが多々あるので、そこがいいなと思いました。また、地域に密着した学校にするために、学校を開放するなどのアイデアもあって、たくさん考えられました。
- ・町民が参加できるこの環境が素晴らしいと思います。
- ・小学校生活の中で改善してほしい点など、話し合えてよかったです。色々な人の意見を聞いて、自分もこんな学校いつてみたいなと思いました。
- ・色々な方と意見をこうかんし、ふれあうことができよかったですし、初めて会って話す人とも、すぐにうちとけて話せたので、真鶴の良さに入るのでは? 楽しかったです。
- ・未来の真鶴は小中一貫校の完成にかかっているようですね! 小中一貫校が成功することを願います。
- ・こういう会で真鶴をもっとよくしていこうと、ねんれいかんけいなく参加させてもらって案を聞いてもらえるとは、本当にいいことだと思います。ありがとうございました。
- ・これまで土曜教室に参加していたため、こちらに参加できなかったのですが、今日は土曜教室の生徒と共に参加し、大変有意義な時間を過ごすことができました。町民のベースにある地域と学校との連携への思いが実現する日を楽しみにしています。
- ・年代を越えて色々な意見や思いを聞くことができ、とても参考になった。子供たちの思いを大切にしたい。
- ・これまでの学校のイメージが広げられる、よい機会となりました。たくさんのご意見がとても参考になり、刺激になりました。
- ・小学生の子どもたちの気持ちがよく分かりました。夢を語ることの大切さ! ステキです。
- ・はじめてきたけど、自分の意見をいえたり、他の人の意見がきけてよかったです。いろんな人とせっしられて、よかったですと思いました。
- ・色々な意見を聞くとともに、自分自身が将来の学校について考えられる機会となっています。ありがとうございました。
- ・こどもの参加、卒業生の参加、多世代の参加があり、町民みんなで考えようということを実感でき良かった。本日は発散の会で夢いっぱいふくらませたので、これを十分に活かした収束を丁寧に、来年度進めていってほしいと思います。また参加したいです。
- ・地域の方や移住者の方、小学生とお話をする事ができて、とても楽しかったです。新しい学校がとてもたのしみになりました。
- ・未来の資源である子ども達に最適な教育環境は何かを、私達大人がしっかり考えていくことは必要なことですね。今日はとても楽しい時間でした。
- ・人口が少ない真鶴町なのに、たくさんの方が集まっていて驚いた。教育に対する熱量がすごい。移住するのが楽しみになりました。
- ・様々な意見を交流しあえて、大変よかったです。また僕は、この出た意見が取り入れられた学校があったら、休みの日も通いたいと思いました。
- ・小学生の方と一緒に未来の学校について語り合うことができ、とても良い学びの時間になりました。すごく楽しかったです。ありがとうございました。

- ・理想の学校を挙げてから、実際どのような学校があるのか、又、他グループの意見を見たり聞いたりすることができたので、より広い考え方やとらえ方ができました。みなさんが考えているのは、楽しい学校、明るい学校なのだなと感じました。
- ・私の中2になるまでには、カフェとかメイクルームができてほしいです。
- ・これからもみんなで幸せな地域を創っていければ、子どもの幸せのために。
- ・様々な年代、職業の方々とお話できたのは、とてもよかったです。
- ・テーマで話し合うことをとおして教育を考えることは、未来の地域（真鶴）を考えることにつながっていることに気付いた。ぜひ教育にさらに力を入れてほしい。
- ・多くの方の考えが聴けて、勉強になりました。夢のある、楽しい学校になればと思います。
- ・みなさん、学校や教育について色々な思いがあるのがわかり、嬉しかったです。
- ・子ども～大人まで、さまざまな立場の意見をきけて、とても良い場だと思いました。短い時間でしたが、とても充実していたと思います。ありがとうございました。
- ・色々な意見を聞いてよかった。複合化や付帯施設はあくまで副産物であり、これからの教育の中身をもっとしっかりと考えていく必要があるのではないかと思った。
- ・全3回参加させていただきました。アイデア出しの作業はとても楽しかったですが、どの回でも「枠」がすでに決まっているように感じました。もっと枠を飛び越えられるアドバイザーのような方がいたらいいと思います。近隣では鎌倉の教育委員会が面白い取り組みをしていると思います！
- ・新しい校舎について、たくさんの皆様の意見を聞くことができて楽しかったです。意見を参考にさせていただき、より良い学校が出来ることを願います。
- ・すごい楽しかったです!! 意見がいっぱいでいて、本当にこの学校ができたらいいなと思いました。
- ・小中一貫校だけでなく、様々な方と真鶴について話し合うことができる、よい機会となった。子どもたちが宿題をしなくても、学びがつながるような授業づくりをしていきたい。
- ・特に子ども達の意見が活発で、たのしく、又、嬉しく感じました。どのグループも「ゆったり」に意見が集まり、今の学校の教室はゆったりとは程遠いのだと思いました。ありがとうございました。
- ・新しく移住してこられる方とお話できて、よかったです。小学生も立派でうれしかった…。
- ・色々な人の意見を聞いてよかった。思いが広がった気がする。
- ・回を追うごとに、参加者から出る意見の中身が濃くなってきたと思います。来年度は教育委員会や町との対話の機会もあるといいなって思います。
- ・様々な立場にある方々、とくに現役の小学生などから多様な意見が聞けて、大変参考になりました。ただやはり、「学校は何をしに行くところか」という根本的な考えが固まってから、施設を考えるというべきかとも感じられました。
- ・3回続けて参加して、こういう話し合いがもっと多くの人に広がるといいなと思うのと、言いつばなしにおわらせないで、形を進めていただけるといいなと思います。
- ・全体としてやむをえないことではと思うが、ハコモノの話に終始してしまった点が残念だった。現場の教職員や児童の、より具体的なコンテンツ（ソフトウェア）の面への言及が欲しかったと思います。
- ・無意識に「教育」しぼりがあると思う。制約をなくして会話できる場にしていきたいと感じました。
- ・教育を語り合う会に3回出席しましたが、このやり方で「新しい学校」がつかれる気が全くしません。すべてにねらいがあり、子どもの教育のためと、学校や子どもにかせられるプレッシ

ヤーが大きすぎると思います。子ども達の成長や子ども達の学びをサポートする地域、大人達でありたいです。現在、新しい学びを実践されている学校の先生や教育長などのお話をうかがいたいです。また、小林町長にもぜひご参加いただきたいです。